

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No.269

2025年

7月号

(毎月25日発行)

・長谷川誠子

6月例会 議事録

日時： 2025年6月5日(木) 14:00～16:00

場所： 川本本店

出席：10名 川本 阪田 阪田悦子 笹嶋 杉田 鈴木 谷木 中村 長谷川 牧

- 1 5月30日(金)に高砂を散策しました。参加者 阪田 杉田 谷木 中村 長谷川 牧 吉田 吉田洋子 8名。企画していただきました牧さんに感謝いたします。当日の記事を2～3ページに掲載しています。
- 2 伏見屋での試食会と工場見学を6月13日(金)に実施⇒このイベントは終了しました。参加者9名、入交 川本 阪田 阪田悦子 鈴木 谷木 中村 長谷川 牧。4～5ページに当日の様子を掲載しています。
- 3 昨年10月の例会に秋元副市長に来ていただき懇談しました。その席で、人気テレビ番組「なんでも鑑定団」を「おにクル」で収録してはどうかと提案しました。その収録が秋に実現し、年末にかけてかけて放映されます。
- 4 今後の行事予定 10/10(金)伊丹 11/25(火) 11/28(金) 12/2(火)のいずれかで紅葉狩り三田・麒麟ビール工場⇒11月の予約は8月から受け付け。12月忘年会場所未定 3月堺 4月お花見 5月京都上賀茂周辺でかきつばた見学。
- 5 今後の例会実施日 7/3(木)総会 8月なし 9/4(木) 10/2(木) 11/6(木)

以 上



謡曲「高砂」の由来を訪ねて レトロ高砂まち歩き

実施日 2025 年 5 月 30 日(金)

参加者 8 名 阪田 杉田 谷木 中村 長谷川 牧 吉田 吉田洋子

牧さんからのコメント

結婚式の祝賀歌として定番の「高砂や、この浦舟に帆をあげて・・・」は室町時代の世阿弥による能楽に由来しています。その故郷として知られる高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置し、瀬戸内播磨灘を望む、白砂青松(はくしゃせいしょう 美しい海岸の景色のこと)の景勝地として古来より知られてきました。江戸時代には北前船の主要な寄港地として大いに栄えました。現在の街並みには当時の賑わいの面影が残っています。今回のまち歩きでレトロな高砂を楽しんでいただき、高砂名物の穴子料理を味わっていただければと思っています。

当日の様子

茨木市から電車で揺られること約 2 時間。車窓は六甲山系を映しながら歴史を感じさせる高砂駅に到着。駅前の観光案内所で現地のガイドさんから高砂市の概要を説明してもらったあと、まち歩きに出発しました。旧国鉄高砂駅跡、高砂神社、工楽松右衛門(こうらくまつえもん)旧宅など見どころが満載。お天気にも恵まれ、高砂の魅力に触れることのできた一日となりました。

参加者の感想

- 銭湯、国鉄の駅跡、商店街、レトロな高砂を堪能できました。
- 地元ガイドさんの解説がていねいでよかったです。高砂の歴史がよく分かりました。
- 高砂神社で、吉田さんの「高砂や～の謡曲」、最高ですね。
- 「そらまめ」でいただいた「穴子せいろ蒸し」はいままで食べたことのない味でした。
- 高砂の英雄「工楽松右衛門」の業績がよく理解できました。
- 茨木市駅 12 時の集合は参加しやすいです。



高砂神社の能舞台前。伝統ある能舞台の前で街 ing 会員の吉田さんに、謡曲「高砂」披露していただきました。その節回しは絶妙で、地元のガイドさんが感心しておられました。長年ガイドをしているが、「高砂」を披露されたのは初めだとも。翌日、観光案内所から、この様子を高砂神社の宮司さんに報告したというメールをいただきました。

高砂神社の境内です。当日ガイドをしてくださった金島さん(右側)と八田さんです。

金島さんは地元の漁業組合に勤めておられました。やわらかい語り口で高砂の歴史を解説していただきました。ありがとうございました。



工業松右衛門(くらくまつえもん)旧宅での記念写真。

江戸時代に海運業を行い、丈夫で耐久性のある帆船の帆を発明した工業松右衛門の居宅を改修し、一般公開されています。

工業松右衛門旧宅の内部です。写真は当時の帆の布を再現したもの。手触りは柔道着のようでした。

松右衛門は港湾改修や蝦夷地開発などの功績により、幕府から「工夫を楽しむ」という意味で「工業松右衛門」という名前をたまわりました。



夕食会場「そらまめ」のご主人です。「そらまめ」では播州名物の「穴子せいろ蒸し」をいただきました。穴子を焼き、ご飯と一緒に特製タレを絡ませてふっくらと蒸した自慢の一品です。梅干しの茶碗蒸しとセットでいただきました。極上の味、おいしかった。

街 ing 分科会

伏見屋の試食会

実施日 2025 年 6 月 13 日(金)

参加者 8 名 入交 川本 阪田 阪田悦子 鈴木 中村 長谷川 牧

伏見屋の試食会は、コロナの影響でしばらく中断していましたが本年より再開しました。街 ing で訪ねるのは 7 年ぶりです。豆腐の製造工程を見学したあと、お腹いっぱい試食会を楽しみました。

伏見屋の歴史

もともとは明治 24 年に『こんにやく屋』として商売をスタートした伏見屋。こんにやく製造については、新たに『京都伏見屋』という会社を設立し、現在では別会社として運営されています。

伏見屋のお豆腐づくりは取引先の百貨店の担当の方から「おいしい豆腐を探してほしい」と言われたことから始まります。いろいろと探し回った結果、京都府向日町のお豆腐屋さんで、「これは！」と思えるお豆腐屋さんに出会いました。早速、百貨店のバイヤーに試食をして頂いたところ、「是非そのお豆腐を販売したい」ということになり、伏見屋がその豆腐屋さんから商品を仕入れて、百貨店に納品することになりました。しばらくしてその豆腐屋さんが、とある事情でお店を立ちのканなくはなくなりました。年配だった店主は「伏見屋で工場を建ててくれれば、そこの工場長として働きたい」とのこと。そこから、伏見屋による美味しい京豆腐づくりが始まりました。今では茨木を代表する豆腐製造会社になっています。なお、この百貨店の名称を当日聞きましたが、記録に残っていないとのことでした。

参加者の感想

- 満腹になる試食会は伏見屋ですね。
- 地下水をくみ上げて製造するとのこと。
茨木の味を楽しみました。
- 工場見学、ワクワク感がありました。
- 集合時間が 11 時前で参加しやすいです。

当日解説をしていただいた従業員の佐賀さんです。いろんな豆腐料理の解説がナイスでした。



伏見屋のホームページに今日の試食会の様子が掲載されるとのことです。



試食会終了後のお買い物。いっぱい買いました。しばらくは豆腐料理が食卓に並びます。



豆腐料理で満腹になりました。阪急茨木市駅前にある商店街の伏見屋が購入しやすいです。ぜひごひいきに。



☆可愛いラッコ☆

笹嶋節子

ゴールデンウィークに小学生の孫と鳥羽水族館に行ってきました。現在国内でラッコを見ることができるのは三重県の鳥羽だけになったとかで、楽しみに出かけました。

ラッコは 1983 年に初めてアラスカから日本にやってきて水族館飼育が始まり、ふわふわの毛皮や仰向けになって貝を割るなど愛らしいユニークな行動から大人気となり、ピーク時には全国で 122 頭のラッコが飼育されていたようです。ところがラッコの輸入は 1998 年を境に米国からの輸入が途絶え、ロシアからも 2003 年を最後に途絶え、現在は原則として輸入できなくなりました。そしてラッコの毛皮は非常に高品質で、高級品として取引されるようになりラッコは乱獲され、日本列島でも 20 世紀初頭にかけて一度は絶滅したと考えられていました。またラッコは非常にデリケートで神経質な動物で高齢化もてつだって繁殖が難しく減少が進んできているようです。

しかしながら、北海道では 2016 年頃から野生のラッコが確認されるようになり、今では道東沿岸霧多布岬（きりたっぷみさき）などで繁殖も確認され、出産・定着しているようです。近年では、野生のラッコに出会える岬として人気だとか・・・♪

ところが、沿岸部の開発、海洋汚染や気候変動など人間の活動がラッコの生存を脅かしており、今は絶滅危惧種に指定されて世界的に保護の動きが進んでいます。野生のラッコは仰向けで子供をおなかに乗せ、両足ひれをかきながら左右に回転したり移動したりする姿はとても可愛い動物だそうです。私は鳥羽水族館では 1 分しか見られませんでした、皆様機会がありましたら北海道を訪れた際に浜中町霧多布岬周辺で野生のラッコを遠くから静かに観察してみてくださいね♪

uhb 北海道文化放送資料より





「タクシー運転手の急死」への対応は

杉田 宗三

5月15日早朝、北関東自動車道から東北自動車道に向かう栃木市の岩舟ジャンクションのランプで、乗客9人を乗せたワゴン車のタクシーが、ガードレールに衝突した。事故のあと、タクシーを運転していた62歳の男性が意識不明の状態 で病院に搬送されたが、およそ1時間半後に死亡したほか、乗客2人が胸や肩を打撲する軽いけがをした。この時、前列の乗客が運転手の異変に気付き、1人がハンドルを握り、もう1人が手でブレーキを押し左右のガードレールに複数回ぶつかり停車したという。

こうした事故は高齢運転手に多く最近増えている。現在試みられている技術革新による自動化運転が、事故の対策になりうるのか期待されるところだが未だ道半ばのようだ。

2024年9月、高知県内にある片側1車線の自動車専用道路において、60歳の男性が運転する車が対向車線に飛び出して対向車と衝突し、乗っていた1歳男児が死亡するという悲惨な交通事故が発生した。この交通事故では、加害男性が、ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)およびLKS(車線維持支援システム)機能を過信し、運転中に着替えを行っていた可能性が指摘されている。

自動運転は、レベル0から5までの6段階に分類されるという。(図表1)

ただ、現在実用化されているレベル3も自動運転ではなく、運転支援機能、運転サポート機能車のはず。自動車メーカーは安易に自動運転を喧伝せず、機能を過信・誤解したことで発生する悲惨

図表1 6つの自動運転レベル

レベル	名称	運転の主体	定義	アクシデント発生時の責任	備考
運転者が全てあるいは一部の運転タスクを実施					
0	運転自動化なし	運転者	自動運転の機能なし	運転者	一般的な非自動運転車両
1	運転支援	運転者	アクセル・ブレーキまたはハンドルのどちらかの操作を部分的に行う	運転者	ACC(アダプティブクルーズコントロール)やLKA(レーンキープアシスト)など
2	部分運転自動化	運転者	アクセル・ブレーキ、ハンドルの両方の操作を部分的に行う	運転者	高度な運転支援システム
自動運転システムが作動時はすべての動的運転タスクを実施					
3	条件付運転自動化	システム (作動継続が困難な場合は運転者)	高速道路など特定条件下で全運転操作を自動化(ただし、緊急時は運転者が操作する必要あり)	システム	世界で初めてホンダ・レジェンド(2021年3月発売)が実現
4	高度運転自動化	システム	高速道路など特定条件下で全運転操作を自動化	システム	2023年4月に解禁 無人での移動サービスや限定されたエリア・道路での自動運転シャトルなどが想定される
5	完全運転自動化	システム	条件なしで全運転操作を自動化	システム	究極の自動運転 実現時期は未定

な交通事故を防ぐべきだとの訴えが多くでている。

現在、タクシー業界に限らず運輸業界全般に運転手不足が問題になっており、高齢者運転手を避けることなど出来ない。乗客となる我々にも対応策が求められているのだろうか？

次回のイベント

街歩き 10月10日(金) 兵庫県、伊丹市周辺の街歩き 詳細は後日

—— 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ——

日 時： 令和7年7月3日(木) 14:00～16:00 総会を兼ねます

場 所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29

議 題： 1. 前年度の事業報告、決算報告
2. 今年度の事業計画、予算案
3. 10月以降のイベント 他

『街ing いばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



《 編集後記 》

- 街ingが発足して23年が経過、24年目に入っています。7月3日(木)の例会は総会を兼ねます。おいしいスイーツを用意します。ぜひ、ご参加ください。
- 万博が中盤に差しかかってきました。閉会は10月13日(月)。気が付いたら終わっていたということも考えられます。すぐ入れる人気うすのパビリオンも多数ありますので、とりあえず会場に行ってみるという選択もありそうです。
- 街ingの次のイベントは10月10日(金)、伊丹市周辺の散策を予定しています。

《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibarakiki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2025年6月現在での訪問者は10,500<前月比20の増加>となっています。

